

ふとんの手入れ方法

JBA のふとん品質表示規程では、ふとんの種類ごとに 4 つの項目について表示内容を規定している。

①使い方と注意

②干し方 干す時間帯＝午前 10 時～午後 3 時頃

③収納と保管の仕方

④洗いや方

※ウォッシュアップの羊毛ふとん、羽毛ふとん、洗濯水 30℃以下、洗剤は中性洗剤を使用。

(一社) 日本寝具寝装品協会では、消費者の方にふとんを快適に使用していただくため「ふとんの買い替えの目安」を定めている。

<機能の低下の面から>

ふとんは使用や保管により、綿などの詰めもののへたりや、ダウンのファイバー化も進み、ふとんのかさ高の低下が起こる。→ 保温性の低下

<衛生上の面から>

ふとんの使用期間が長くなると、汗などの不純物が、ふとん側生地や詰めものに付着する。
→ 臭いやカビ発生の原因になる。衛生上対策が必要。

<ふとんの種類ごとの買い替えの目安>

ふとんの種類	一般的な買い替えの目安	その他の目安
綿ふとん	掛けふとん→約 5 年 敷きふとん→約 3 年 ただし、打ち直しの再生が可能	ふとん生地の汚れがひどいときや、詰めものが極端に片寄ってしまったときなどは、打ち直し、リフォーム、丸洗い又は買い替えをお勧めします。
合織ふとん	掛けふとん→5 年、敷きふとん→3 年	
羊毛ふとん	掛けふとん→約 5 年 敷きふとん→約 3 年	
羽毛(羽根)ふとん	掛けふとん→5 年に一度は痛み具合を点検し、必要ならばリフォーム	
真綿ふとん	掛けふとん→約 5 年	